

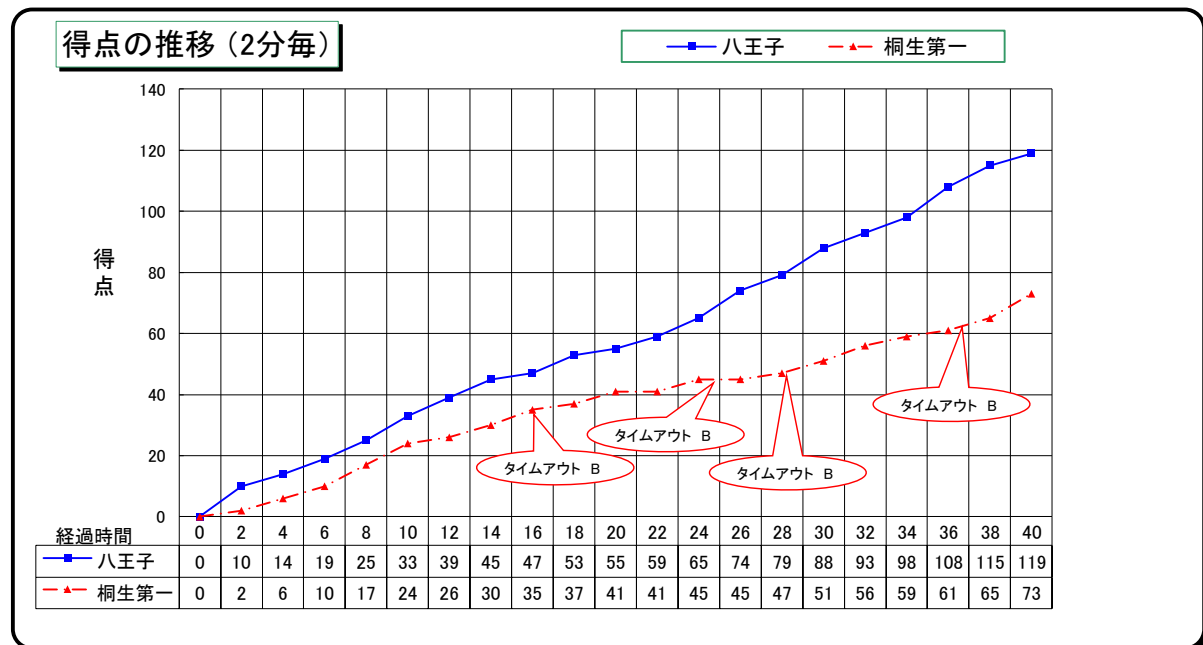
# 平成23年度 第22回 関東高等学校バスケットボール新人大会 【男子】 <2回戦>

平成24年 2月11日(土)	ひたちなか市総合運動公園総合体育館	大会1日目	Bコート	第6試合 16:30~										
<チームA> <div style="text-align: center; font-size: 2em; color: blue;">八王子</div> 東京	<div style="font-size: 3em; font-weight: bold;">119</div> <div style="display: inline-block; vertical-align: middle; text-align: center;"> <table border="0" style="margin: 0 auto;"> <tr><td style="padding: 0 5px;">33</td><td style="padding: 0 5px;">1Q</td><td style="padding: 0 5px;">24</td></tr> <tr><td style="padding: 0 5px;">22</td><td style="padding: 0 5px;">2Q</td><td style="padding: 0 5px;">17</td></tr> <tr><td style="padding: 0 5px;">33</td><td style="padding: 0 5px;">3Q</td><td style="padding: 0 5px;">10</td></tr> <tr><td style="padding: 0 5px;">31</td><td style="padding: 0 5px;">4Q</td><td style="padding: 0 5px;">22</td></tr> </table> </div> <div style="font-size: 3em; font-weight: bold; margin-left: 20px;">73</div>	33	1Q	24	22	2Q	17	33	3Q	10	31	4Q	22	<チームB> <div style="text-align: center; font-size: 2em; color: red;">桐生第一</div> 群馬
33	1Q	24												
22	2Q	17												
33	3Q	10												
31	4Q	22												
主審: 佐藤 誠(指)    副審: 塚田 剛(茨)														

S	No	選手名	得点	3P	2P	FT	Foul
○	4	篠 将人	2		1		5
◎	5	佐々木和也	26	1	10	3	1
◎	6	新号 健	25	5	5		
◎	7	ハイセイテイサイジャニ	17		8	1	
◎	8	板垣 翔太	17	1	7		2
◎	9	野間 進太郎	15	1	5	2	1
○	10	高山 椋	4		2		1
○	11	高橋 雄太	5	1	1		
○	12	清水 太一					
○	13	大塚 尚弘	2		1		1
○	14	五十嵐拓也					
○	15	稲川 翔平	4		2		
○	16	渡辺 裕二	2		1		1
○	17	森本 航洋					
○	18	小林 一輝					
コーチ			石川 淳一				
合計			119	9	43	6	12

S	No	選手名	得点	3P	2P	FT	Foul
◎	4	ドウティエン・チュン	16	2	4	2	1
◎	5	平栗 一真	14		6	2	
◎	6	西山 誠也	10	2	2		1
○	7	中野 史紀					1
◎	8	小倉 溪	17		8	1	2
○	9	成田 将輝					
◎	10	坂下 竜成	6		3		
○	11	小堀 賢人					
○	12	井上 翔真					
○	13	磯田 貴大	4		2		
○	14	小森 涼太					
○	15	落合 亮太					
○	16	齋藤 涼一	4		2		
○	17	山本 剛士	2		1		
○	18	古郡 岬					
コーチ			蛭間 貞夫				
合計			73	4	28	5	5

◎:スターター / ○:出場 / 3P:3点シュート(本数) / 2P:2点シュート(本数) / FT:フリースロー(本数) / Foul:パーソナルファウル



戦 評      記入者: 斧田 典之

第1P、両チーム共にハーフコートマンツーマンで始まった試合は、序盤から高いシュート能力を見せ合う展開。八王子は⑤佐々木のミドルシュートを皮切りに、⑨野間、⑥新号の3p等で着々と加点。対する桐生第一は、インサイドのプレッシャーが厳しい八王子のディフェンスに対し、アウトサイドからのシュートで応戦。⑧小倉、⑤平栗のミドルシュート、④ドウティエンの3pなどを中心に、様々な選手がシュートを決めていく。しかしリバウンドで勝る八王子が終始リズム良く攻め、33-24とリードして第1P終了。

第2Pに入っても八王子はペースが変わらず、アウトサイドからのシュートに加えインサイドでの⑦イサの1対1、⑧板垣のゴール下シュートなど多彩な攻めを見せる。桐生第一もミドルシュートに加え、1対1や2対2からのあわせのプレーから⑩坂下のドライブインなどが見られるようになるが、確実に得点する八王子に徐々に差を広げられ、55-41と八王子リードで第2P終了。

第3P、桐生第一は八王子⑦イサにマッチアップした⑧小倉の奮闘と、周囲のヘルプディフェンスで何とか八王子のリズムを崩そうとするが、八王子は動じることなく⑥新号、⑨野間を中心に攻撃を組み立てる。特に大事な場面では⑧板垣のオフェンスリバウンド、1対1からの得点が効果的で、完全にゲームを支配。88-51と桐生第一を突き放す。

第4Pに入って八王子のメンバーが変わってもゲームの流れが変わることはなく、119-73で試合終了。多彩なパターンで得点し、思うように相手に攻撃させなかった八王子が、強さを見せ付けて準決勝に進出した。